

# 秩父夜祭 祭礼区域・笠鉾屋台曳行図

笠鉾・屋台は、国指定重要有形民俗文化財となっており、屋台行事と神楽も国指定重要無形民俗文化財となっております。

# 曳行・行事案内&交通案内図

平成25年12月2日(日)・3日(火)

# 秩父

日本三大曳山祭

# 夜祭

国指定重要無形民俗文化財



ARで秩父夜祭の動画が見られます!



京都の祇園祭、飛騨の高山祭とともに日本三大曳山祭に数えられる秩父夜祭は、秩父の総社、秩父神社の例大祭で、300有余年の歴史を誇ります。巧みの技を極めた極彩色の彫刻や、金糸をあしらった後幕の刺繍などに彩られた、豪華絢爛な笠鉾・屋台が秩父屋台囃子の調べに乗り、冬の夜空を焦がす花火をバックに曳き廻される勇壮な祭りです。秩父神社の女神妙見様と武甲山の男神が年に1度、御旅所で出逢うというロマンも伝えられています。

ARにて動画をご覧いただくには…  
AppStore (iOS) または Google Play (AndroidOS) で無料の専用アプリ「秩父夜祭 AR」をダウンロード(下の2次元コードからでも可)。アプリを起動し、本表紙左上の見処1の写真を携帯画面に表示すると動画が始まります。  
(有効期限:2013年12月18日迄)

お問い合わせ  
秩父まつり対策本部 ☎0494-25-5209  
秩父夜祭観光祭実行委員会 ☎0494-21-2277

**見処のご案内**

- 見処3 屋台曳き踊り**  
屋台町である宮地・上町・中町・本町の各町内ごとに街の辻や他町会前、秩父神社の神門前などに屋台を止めて、長唄の曲を演奏する地方と踊り手である立方により「曳き踊り」という所作事を奉納します。
- 見処4 屋台の後幕**  
4基の屋台は、後幕に施された刺繍も豪華で、それを見るのも一つの楽しみ方。「狸狸」や「鯉の滝登り」、「波に海魚」「玩具宝船」と様々なテーマで飾られています。彫刻や水引幕なども各屋台によって違いがありますので必見です。
- 見処5 ギリ廻し**  
屋台や笠鉾の方向転換は、テコの原理で持ち上げて回転させる「ギリ廻し」と呼ばれる場面です。重さ数十トンの屋台・笠鉾が大きく傾き、「玉入れ」と呼ばれる小太鼓のリズムに合わせて方向転換します。
- 見処6 秩父神社神楽**  
秩父神社に伝わる神楽は「神代神楽」とも呼ばれ、高天原神話や出雲神話など古典神話を題材に、35座が伝えられています。特に秩父祭の神楽は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。夜祭の斎場祭で舞われる代参宮神楽は、古風な形式をのこす代表的な舞といわれています。
- 見処7 御神幸行列**  
3日午後8時30分、神輿1基・御神馬2頭・大神等をはじめとする神社行列が秩父神社からお旅所に向います。市内各町の高張供物行列に続き、午後7時位から中近、下郷、宮地、上町、中町、本町の順に笠鉾・屋台が神社行列に続いてお旅所へ向けて出発します。
- 見処8 亀の子石**  
秩父夜祭の斎場である御旅所には、秩父神社の女神・妙見菩薩の神使とされる亀(玄武)が祀られています。妙見様と武甲山の男神との逢瀬の大切な役割を担う玄武を、地元では親しみを込めて「亀の子石」と呼んでいます。